

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-1-3	事務事業名 ふれあいのまちづくり事業への支援	所管部課 保健福祉部保健福祉総合調整課					
事務事業の概要	事務事業の目的 地域で様々な人が交流し、助け合うと共に行政機関や福祉施設等の関係機関との連携のもと高齢者、障害者、児童・青少年他福祉課題を抱える人々に対し地域に即した創意と工夫により具体的課題に対応するとともに、住民相互の助け合いや交流の輪を広げ共に支え合う地域社会作りに寄与する。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)地域福祉の推進 (主要施策)社会福祉協議会地域福祉活動への支援					
	実施内容、実施方法 社会福祉法人西東京市社会福祉協議会に対する運営費等補助要綱に基づく補助金交付をしている。そのうち、ふれあいのまちづくり推進事業費の対象経費に都補助率2/3に対する市補助1/3と市単独加算分にて補助事業として実施している。	根拠法令等 社会福祉法人西東京市社会福祉協議会に対する運営費等補助要綱					
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 懇談会の開催回数	活動指標の考え方(定義) ふれあいのまちづくり住民懇談会が開催された回数					
	成果指標名 懇談会への参加人数	成果指標の考え方(定義) ふれあいのまちづくり住民懇談会に参加した延べ人数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		3,334	2,900	3,662	6,449	
	国庫支出金	千円					
	都支出金					1,286	
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,334	2,900	3,662	5,163	
	所要人員(B)	人	0.02	0.02	0.02	0.02	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	165	165	167	167	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	3,499	3,065	3,829	6,616	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(懇談会の開催回数)	千円	292	11	10		
	歳入	千円	6,666	5,800	5,666		
	活動指標	目標値	回				
		実績値	回	12	286	389	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人					
	実績値	人	508	6,715	7,988		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ふれあいのまちづくり住民懇談会の会員と地域ささえあいネットワーク協力員とが重複する。事業が社協と市(高齢福祉課)と縦割りであり分かり辛いという、現場を支える住民からの声がある。					
	国・都・他市・民間等における類似事業	ふれあいのまちづくり事業は平成3年から全社協レベルで展開された事業で、事業開始から5年間、県社協から実施社協に補助が行なわれた。合併前の田無市は平成3年から、保谷市では平成12年から事業化した。					
	運営上の制約条件・外部要因等	個人情報保護法の施行以降、地域に潜在する高齢者、障害者等の把握の方法に課題が生じた。					

コード 6-1-3	事務事業名 ふれあいのまちづくり事業への支援	所管部課 保健福祉部保健福祉総合調整課
--------------	---------------------------	------------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	市内18の小学校通学区域に「ふれあいのまちづくり住民懇談会」を立ち上げることができ、年間延べ389回の懇談会が開催された。この懇談会への参加者も延べ7,988人にのぼり徐々にではあるが実績をあげている。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	今日の社会情勢の変化は、行政に対する市民ニーズの面でも多種多様化しており、これまでの行政主導による福祉施策から、住民自らが地域の福祉課題を見つけ解決していくためのコミュニティ作りが求められており、住民懇談会への一定の活動費の支援は必要性が認められる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	福祉施設の規模で一律に実施される福祉サービスに対し、一概に効率性の良し悪しは語れないが、地域ごとに福祉課題の解決に向けて住民主体で様々な取り組みを行なうことにより地域福祉の増進に寄与することを目的としているため、今後の住民懇談会の活動量の増加を期待している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	西東京市社会福祉協議会は、社会福祉法第109条により社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助を使命の一つとしており、18のふれあいのまちづくり住民懇談会を立ち上げることができた。残る2地域についても17年度中の立ち上げが見込まれ、市内全域をにわたり地域での住民参加の機会がある。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	住民自ら地域の福祉課題を見つけ解決していける仕組みづくりと、住民の関係づくりを推進し、地域で支える福祉の基盤づくりを推進する。という事業目的は、これまでの行政が施す事業から住民自らが主体となって実施していくものとなった。住民からすると行政は何も手を貸さないという意見もあるが、住民の主体性を本旨とする事業であり、その事業展開も試行錯誤の状態である。様々な取り組みの中から地域ごとにあり方が収斂されていくものとして当面はこのまま継続することが妥当と解する。

17年度における改善点	平成12年度(旧保谷市)から平成16年度の5ヵ年に渡り補助金(都から東社協を経由し地区社協へ交付、基準額2/3・1/3は市負担)事業としての枠組みで実施してきたサンセット事業である。平成17年度からは西東京市の独自の必要性(総合計画・重プロ)から単独事業として再構築した。具体的には補助要綱の改正により社協の裁量を広げるとともに民間法人としての自己責任による事業運営を誘う。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

<p>評価の視点</p> <p>実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など</p> <p>必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など</p> <p>効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など</p> <p>公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など</p> <p>総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。</p> <p>拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。</p> <p>継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。</p> <p>改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。</p> <p>抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。</p> <p>廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。</p>
--